

女性特有の病気の患者5,231名の声

メディケア生命保険株式会社（社長 野村 洋一）は、特定女性疾病通院治療特約の発売にあたって、乳腺症・子宮内膜症・卵巣のう腫などの女性特有の病気※を経験した全国的女性5,231名に、治療の実態に関するアンケート調査を実施いたしました。

※乳房、子宮、卵巣、卵管にかかわる病気（がんを含む。月経困難症、女性不妊症を除く。）

【調査のポイント】

病気の 発見経緯

- 病気の発見経緯は、自覚症状があり病院を受診するケースが41.4%と多くなっています。
- 自覚症状を感じてから病院を受診するまでの期間は、1か月程度の方が31.7%と最も多い一方で、2年以上空いた方も約2割いました。

詳細はP2

通院治療の 期間・頻度

- 通院による治療を受けた方が88.0%と多く、59.3%の方は通院治療のみ受けられていました。
- 通院の頻度は少なくとも月に1回以上通院している方が44.1%、通院した期間は3年程度以下となる方が約8割となっています。
- 治療の中断を経験した方が23.3%（およそ5人に1人）いて、そのうち中断期間は2年以上の方が37.1%で最も多くなっています。

詳細はP3～5

治療の 内容

- 受けた治療の内容は病気によって傾向が異なり、女性特有の病気（がん以外）では薬剤治療が69.9%と多い一方、女性特有のがんでは手術が78.0%で最も多くなっています。
- 薬剤治療の内容は、女性特有の病気（がん以外）・女性特有のがん共にホルモン剤による治療を受けた方が最も多くなっています。

詳細はP5

本件に関するお問い合わせ先

【お客さま】 コールセンター 0120-315-056

【報道関係者さま】 経営管理部 03-5621-3367



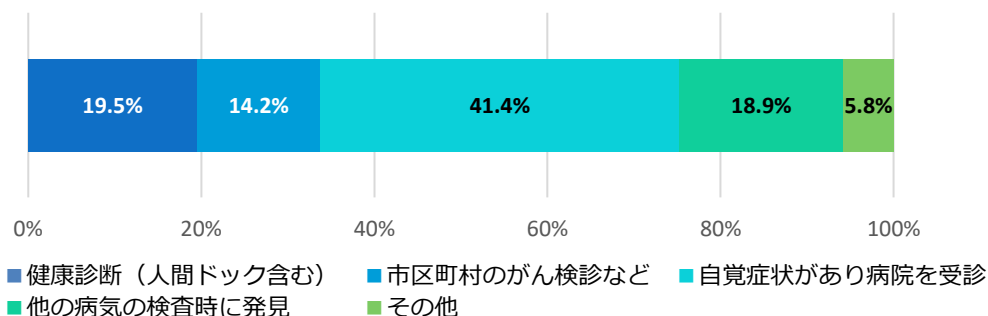
メディケア生命
住友生命グループ



調査結果①

病気の発見経緯

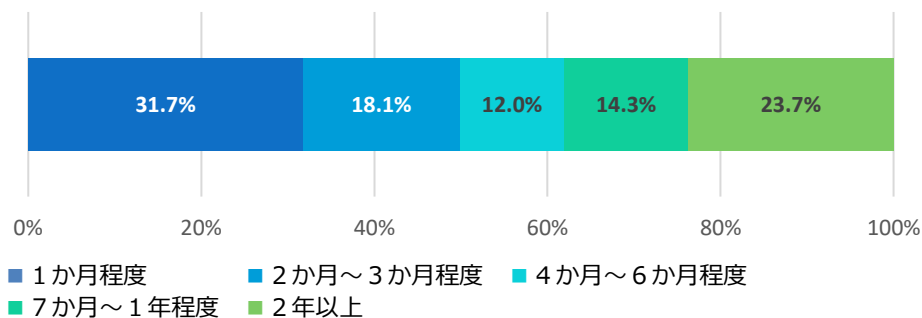
- ・病気の発見経緯は、自覚症状があり病院を受診した方が41.4%で最も多く、次いで健康診断（人間ドック含む）や他の病気の検査時となっています。



調査結果②

自覚症状を感じてから病院を受診するまでの期間 （調査結果①で「自覚症状があり病院を受診」を選択した方）

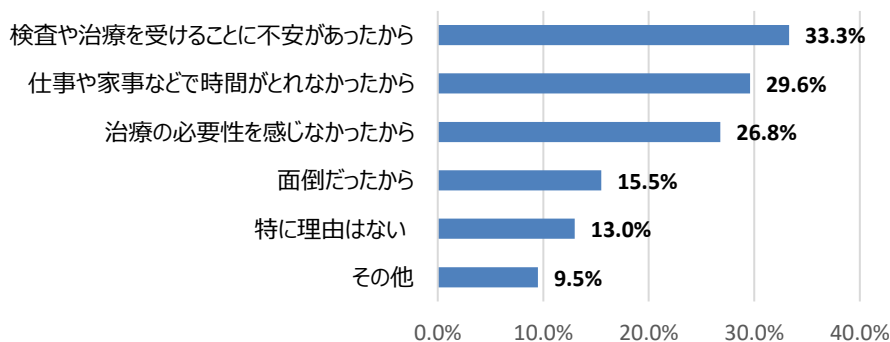
- ・自覚症状を感じてから病院を受診するまでの期間は、1か月程度の方が31.7%で最も多いものの、次いで多かった方が2年以上で23.7%となりました。



調査結果③

自覚症状を感じてから病院を受診するまでに時間がかかった理由 （調査結果②で「1か月程度」以外を選択した方、複数回答）

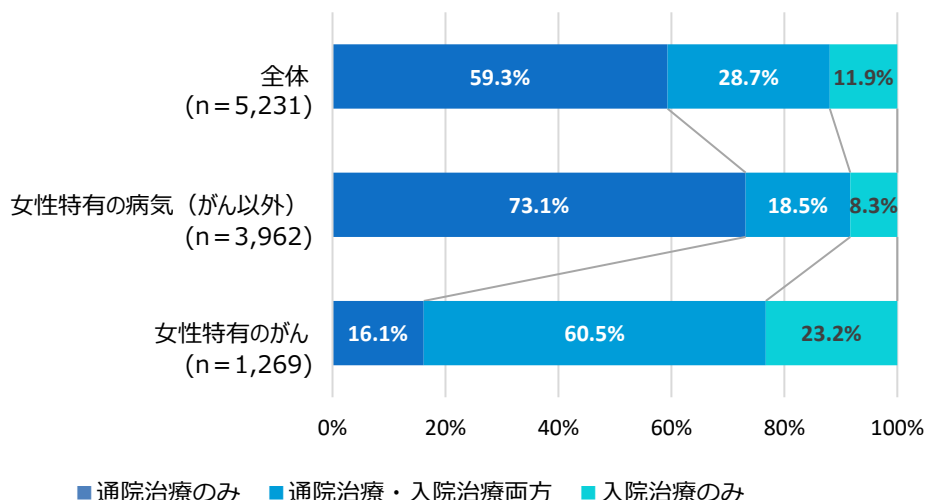
- ・自覚症状を感じてから病院を受診するまでに時間がかかった理由の上位3つは「検査や治療を受けることに不安があったから（33.3%）」「仕事や家事などで時間がとれなかったから（29.6%）」「治療の必要性を感じなかったから（26.8%）」でした。



調査結果④

通院治療の経験

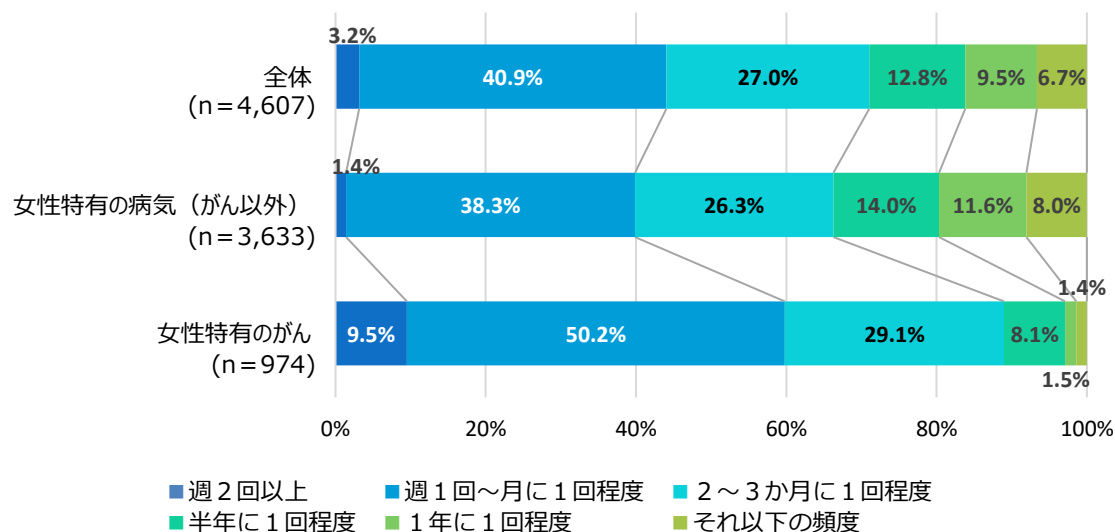
- ・入院と通院でどちらの治療を受けたかということについては、全体で59.3% が通院治療のみと割合が最も大きく、通院治療・入院治療両方受けた方と合わせると88.0%が通院治療を受けています。
- ・また、女性特有の病気（がん以外）では7割超の方が通院治療のみ受けられています。



調査結果⑤

通院頻度の分布

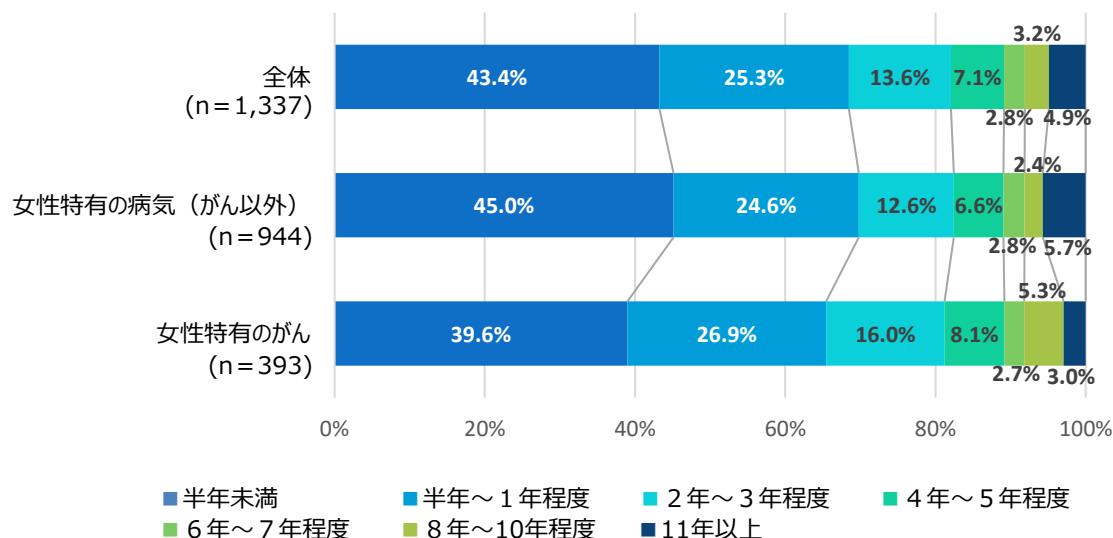
- ・通院頻度については、女性特有の病気（がん以外）では39.7%、女性特有のがんでは59.7%の方が少なくとも月に1回以上の通院をしています。（「週2回以上」「週1回～月に1回程度」の合計。全体では44.1%。）



調査結果⑥

通院期間の分布（アンケート時点で治療完了している方、治療を中断した期間や治療終了後の経過観察期間は除く）

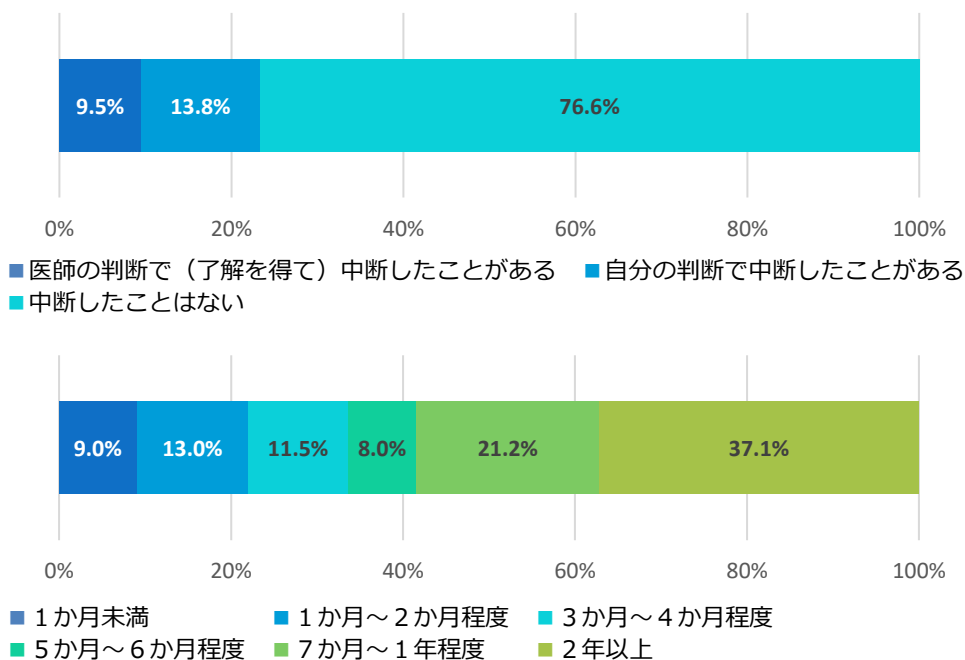
- ・通院期間については、3年程度以下となる方が女性特有の病気（がん以外）・女性特有のがん共に約8割となっています。（「半年未満」「半年～1年程度」「2年～3年程度」の合計。全体では82.3%。）



調査結果⑦

治療中断の経験／治療中断の期間（治療を中断したことがある方）

- ・治療中断の経験については、中断したことはない方が76.6%と最も多いものの、一方で23.3%（およそ5人に1人）の方は中断を経験しています。
- ・治療を中断した期間は、2年以上の方が37.1%と最も多く、次いで7か月～1年程度の方が21.2%となっています。

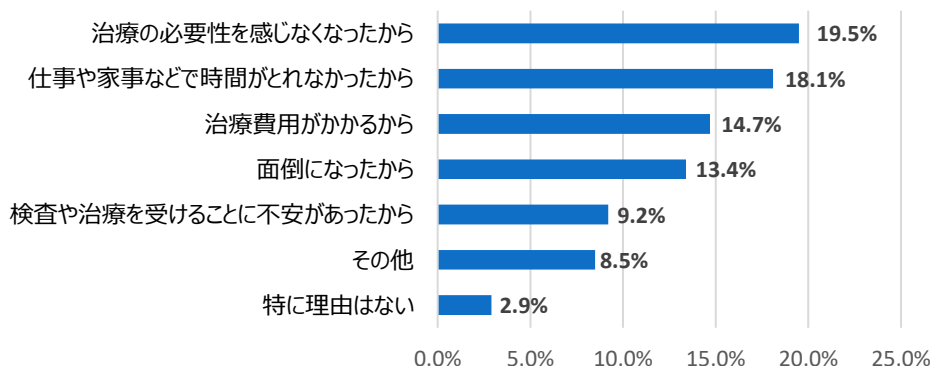


調査結果⑧

治療を中断した理由

(調査結果⑦で「中断したことはない」以外を選択した方、複数回答)

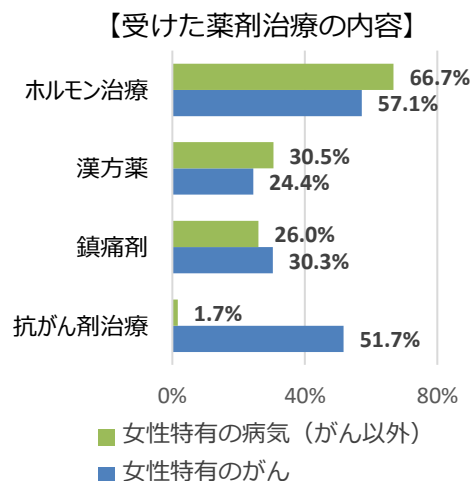
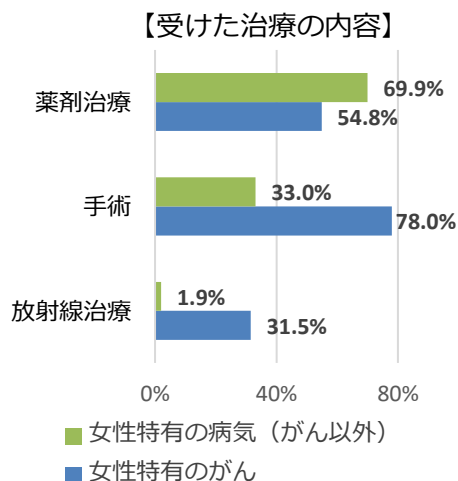
- ・治療を中断した理由の上位3つは「治療の必要性を感じなくなったから（19.5%）」「仕事や家事などで時間がとれなかったから（18.1%）」「治療費用がかかるから（14.7%）」でした。



調査結果⑨

受けた治療の内容（複数回答）

- ・受けた治療の内容は、女性特有の病気（がん以外）では薬剤治療が69.9%と多くの方が受けられています。一方、女性特有のがんでは手術が78.0%で最も多く、異なる傾向にあります。
- ・薬剤治療の内容は、女性特有の病気（がん以外）・女性特有のがん共にホルモン剤による治療が最も多くなっています（66.7%・57.1%）。加えて、女性特有のがんでは約半数の方が抗がん剤治療を受けられています。



<調査概要>

調査名称 メディケア生命「2021年女性特有の病気に関するアンケート」

調査対象 マクロミルのモニター会員を母集団とする乳房、子宮、卵巣、卵管の病気を経験した女性
(20歳～69歳)

調査時期 2021年9月15日～2021年9月22日

調査方法 インターネットリサーチ

調査地域 全国

有効回答数 5,231名

調査委託先 株式会社マクロミル

* 記載の数値は小数点第2位以下を切り捨てているため、合計が100%とならない場合があります。

* アンケートの対象には、特定女性疾病通院治療特約の保障範囲と異なる疾病が含まれている場合があります。